

実践記録

152

シリーズ



「関川村放課後子ども教室」

関川村教育委員会 教育課生涯学習班 主任 加藤 龍

○きっかけ・ねらい

今年の春に5つあった小学校が1つに統合され、統合によって使われなくなった校舎を少しでも生かせるよう、また、地域づくりや生涯学習の観点から、子どもたちの遊びや体験の場の充実および子どもたちと地域の方たちのつながりづくりにもなれるようにできればよいとの考えからでした。

○概要

- ・名称：関川村放課後子ども教室
- ・実施日：6月8日から毎週火曜日(但し、休校日を除く。初回は6月5日(土)に開校式として実施)
- ・会場：川北ふれあい自然の家(旧：川北小学校)
- ・参加者：65名(10/15現在)
- ・指導員：20名(但し、毎週4～5名体制とし、月一回程度出席)
- ・教室の主な流れ
 - ①名簿に出席の「○」を子どもに付けさせる。
 - ②学校の宿題を行う。
 - ③本日の教室を開始。(テーマは日替わりで、天候等により野外活動・屋内活動を実施する)
 - ④帰る時に、帰宅の「○」を子どもに付けさせる。

○開校式

6月5日、開校式というかたちで教室がスタートしました。

この日は土曜日ということで放課後ではなかったのですが、せっかくの始まりということもあり、保護者の方々にも見ていただける授業参観方式で始めてみました。参加した小学生は44名で、指導員は20名全員出席。

天気が良く、気温も高かったこともあり、この日は会場近くの川で野外活動を行いました。

川遊びや虫とりなどで夢中になる子どもたち。あまりに夢中になりすぎて、服をよごしてびしょ濡れになる子どももちらほらいました。これには保護者の方々も若干苦笑いだったようですが、普段あまり見ることのない子どもたち同士でいきいきしていたのを見ることができたことで、今後の活動に期待を寄せてくれたようです。

○これまでの課題と展望

教室の内容によって活動場所がいくつかに分かれる場合、その選択は子どもたちの自由にさせていますが、元々小さな小学校なので、場所によっては活動場所が狭く感じるところも出てきたりしています。

また、1・2年生の下校が早く、高学年の下校が遅いため、開校式のようにみんな一斉に教室を始めることができず、特に高学年は教室に来てから終了(保護者のお迎え)までの時間が1時間くらいしかなく、宿題を終える頃にはあまり活動ができず、教室の内容が充実できていないことが課題となっています。

それでも、お迎えまでの待ち時間では、テーブルゲームで指導員たちも遊びながら有意義に過ごしており、中でも将棋については、ルールを知らない子たちばかりなので、やり方を教えてもらいながら物珍しく夢中にやっています。これからは、冬季に差し掛かり、小学校の下校時間が早まることになるため、高学年をはじめ、全体で活動できる時間も長くなってくるので、開校式のときのように全体活動を展開できたらと考えています。

事 務局長のつぶやき
 これといった台風が来ないままに秋が終わろうとしていきます。台風被害がなくて良かったと思うものの、毎年来るものが来ないとなんだか不気味な感じがします。竜巻の発生や熊の

あ
と
が
き

純国産クリーンエネルギー

ダムは、CO₂を排出しないクリーンな電力を供給するとともに、都市住民の生活や農業・産業活動などに安定した水の供給を行い、また、集中豪雨等の災害時には住民の生命・財産を守る機能を果たすなど、国民の安心・安全にも役立っています。

新潟県ダム・発電関係市町村協議会
 会長(阿賀町長) 神田 敏郎

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
 TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

出没が相次ぐなど例年にならないとが次々と起きています。昨冬は新潟市でも猛地吹雪が起きて大変な混乱が起きました。気を引き締めて(も、天変や熊には何の効果もありませんが)、せめて防災用具の点検や冬の準備を早めにしなくてはと思っています。

(田原)